

平成27年度第2回刈谷市総合教育会議 次第

日 時：平成27年9月29日（火）
午後1時から

場 所：刈谷市役所 701会議室

1 市長あいさつ

2 議題

（1）刈谷市教育大綱の概要について・・・資料1

（2）刈谷市教育大綱の骨子案について・・・資料2、3

3 その他

次回 第3回 総合教育会議 11/19（木）10時 701会議室
教育大綱 素案提示予定

第4回 総合教育会議 1/22（金）13時 701会議室
教育大綱 策定予定

〔配布資料〕

第1回のまとめ

資料1：刈谷市教育大綱の概要について

資料2：刈谷市教育大綱の概念的イメージ

資料3：「教育大綱の4つの柱」と基本施策

平成 2 7 年度 第 2 回刈谷市総合教育会議

出席者名簿

職 名	氏 名
市 長	たけ なか よし のり 竹 中 良 則
教育委員会 委員長	はた る み 畠 留 美
〃 委員長職務代理者	いけ だ ひろ ゆき 池 田 裕 幸
〃 委 員	かみ や おさむ 神 谷 修
〃 委 員	くさ か 日 下 ゆかり
〃 委員（教育長）	おお た たけ し 太 田 武 司

平成27年度 第2回刈谷市総合教育会議 座席表

平成27年9月29日(火)午後1時00分～
701会議室

	市長	
畠 委員長		池田 委員長 職務代理者
日下 委員		神谷 委員
太田 委員 (教育長)		

学校教育 課長	教育総務 課長	企画政策 課長	教育 部長	企画財政 部長
------------	------------	------------	----------	------------

企画政策課 担当者	教育総務課 係長	企画政策課 係長	学校教育課 課長補佐	企画政策課 課長補佐
--------------	-------------	-------------	---------------	---------------

傍聴 受付		傍聴席		
	ドア			

第1回のまとめ

- 刈谷の教育や子育てなどが充実し、子ども達が元気に夢を抱き、刈谷市を「住みたいまち」「住みやすいまち」と思えるよう、総合教育会議において意見交換を図りたい。
- 総合教育会議において、私達教育委員のできることは、今まで以上に**教育への思いを明確に持ち、それを発信していく**ことだと思っている。
- 総合教育会議で協議又は調整の対象としないものとして、「その他政治的中立性の要請が高い事項」とあるが、具体的にどういったものなのか。
 - ➔ ある一定の政党や思想に偏ったものなどが想定されます。また、そういった内容のものは事務局が事前に除いておく予定です。
- 総合教育会議において、委員として偏った意見を述べてしまった場合はどうなるか。
 - ➔ そぐわない発言などがあっても、その場で周りが指摘するなど、適時判断して対応させていただきます。いろいろな発言をすることが、この会議の目的です
- 傍聴人の方がいる会議では、密かに録音をされているのではと少し気掛かりである。
 - ➔ 傍聴券の裏面に「撮影及び録音はご遠慮ください。」とあります。事務局としても、その点につきまして、受付時など特に注意を促します。
- 総合計画にある教育文化分野の方針に沿って教育大綱を策定するということか。
- 大綱について、私は少し狭く捉えていた。**学校教育分野だけではなく、青少年育成、生涯学習、スポーツなどの分野についても含めて策定するということなのか。**
 - ➔ その通りです。
- **我々教育委員は小中学校のことを中心にやってきたという自負がある。**その意味で、どの分野をどういった割合で扱っていくのかは、はっきりさせておくべきだと思う。
 - ➔ **目安は学校教育が5割、その他の分野がそれぞれ1割**ずつといったイメージです。
- 教育は、学力向上以上に、子ども達の豊かな心を育む、**心の教育も大切**である。
- 子ども達が「自己有用感」や「自己肯定感」を持つため、自分を肯定的に捉えられるようになるためには、**人から必要とされている、見守られていると感じられることが大事**である。大人は、そうした環境を整えてあげる必要がある。
- 教育行政として、心を育む教育に取り組んでいただきたい。
- 子ども達は多くの可能性を秘めている、すばらしい存在である。
- 人は一生成長する。常に子どもたちを見守っていきたい。
- 刈谷市の教育委員会は、全員同じ方向を向いており、良いことも悪いことも、包み隠さず速やかに報告しており、素晴らしい状態と思う。
- 横並び方式といって優劣をつけないことは、勝つ喜びや負ける悔しさを知る機会を奪っているのではないかと、頑張った友達を称え、思いやる気持ち等もとても大切である。差別はよくないですが、メリハリをつけ必要な区別はしてもよいのではないかと。
- 体験学習をもっと重視してほしい。(職場体験、小堤西池カキツバタの管理ボランティア等)
- 「いってきます」と出ていき、「ただいま」と学校から無事に帰ってくることが親の願い。子ども達には笑顔で元気にいてほしい。
- 子どもたちのためには、親のあり方も大事であるが、学校の先生が心身共に健康であることも非常に重要だと思う。現場の先生はお忙しく大変疲れているように感じる。
- **「刈谷を背負って立つ子ども達をどうやって育て、何が必要なのか」は、教育分野に限らず市全体の問題**である。
- 学習指導要領に則って学ぶことだけではなく、**郷土の歴史を知ること大切**である。
- この会議のあり方や方向性はどういうものか。着地点はあるのか、なにか結論付けられないといけないものなのか、それとも、様々な議論をしていくものなのか。
 - ➔ **今年度は、教育大綱の策定が主たる内容となります。ただし、臨時で何かあった場合は開催いたします。来年度以降は、大綱の進行管理や見直し、そして、教育施策についての議論なども必要**になってくると考えています。
- 教育大綱の期間はどれくらいですか。
 - ➔ 教育大綱は4～5年を目処に見直しを考えています。今後、第2回で大綱の方向性、第3回で8～9割完成した素案、第4回で最終確定をしていく予定です。

刈谷市教育大綱の概要について

① 第 1 回会議のまとめ（大綱関係抜粋）

- 刈谷市の教育大綱は、学校教育と青少年育成、生涯学習、スポーツ分野等も含める。各分野は、学校教育 5 割、その他の分野を 1 割程のボリュームとする。
- 大綱の期間は、首長の任期が 4 年であるため、4～5 年を目処に大綱見直しを行う。
- 今年度の策定スケジュールは、第 2 回会議にて骨子、第 3 回会議にて 8～9 割完成した素案を示し、第 4 回会議にて最終確定の予定である。

② 教育大綱とは

- 総合教育会議にて、市長と教育委員会が協議、調整を尽くし、**市長が策定する。**
- 大綱は、目標や施策の基本となる方針を定めるもので、**詳細な施策を策定するものではない。**
- 大綱の内容としては、学校の耐震化、学校の統廃合、少人数教育の推進、総合的な放課後対策、幼稚園・保育所等の幼児教育・保育の充実、学術、文化、スポーツ施策等、予算や条例等の市長の有する権限に係る事項についての目標や根本となる方針が考えられるが、**必ずしも網羅的に記載する必要はない。**
- 大綱が対象とする期間について、市長の任期が 4 年であることや、国の教育振興基本計画が 5 年であることから **4～5 年程度を想定。**
- 策定した大綱の下に、市長、教育委員会それぞれが所管する事務を執行する。

③ 刈谷市教育大綱の方向性

視点

市長及び教育委員会両者の視点を意識したもの
（学校教育、家庭、地域、行政、…）

範囲

総合的で、市長及び教育委員会両者の有する権限全体を網羅したもの
（主に学校教育分野を中心とする）

期間

平成 28 年～平成 32 年
（総合計画の基本計画の終期に合わせる）

目指すところ

育てたい子ども像



刈谷市教育大綱

（ ← 後ほど説明）

参考：冊子のイメージ

◆ 1～4 ページ

（名古屋市、和光市、海老名市、鯖江市）

➡ 分かりやすさ重視

◆ 9～10 ページ

（糸島市、藤枝市、伊丹市、小松市）

➡ 情報量重視

刈谷市教育大綱の概念的イメージ

私たちは、子どもたちの育ちの段階に応じた支援をし、「生きる力¹」を育んでいくことを教育の基本と捉え、様々な場面で、「育てたい子ども像」を目指した取り組みを推進します。

そのために



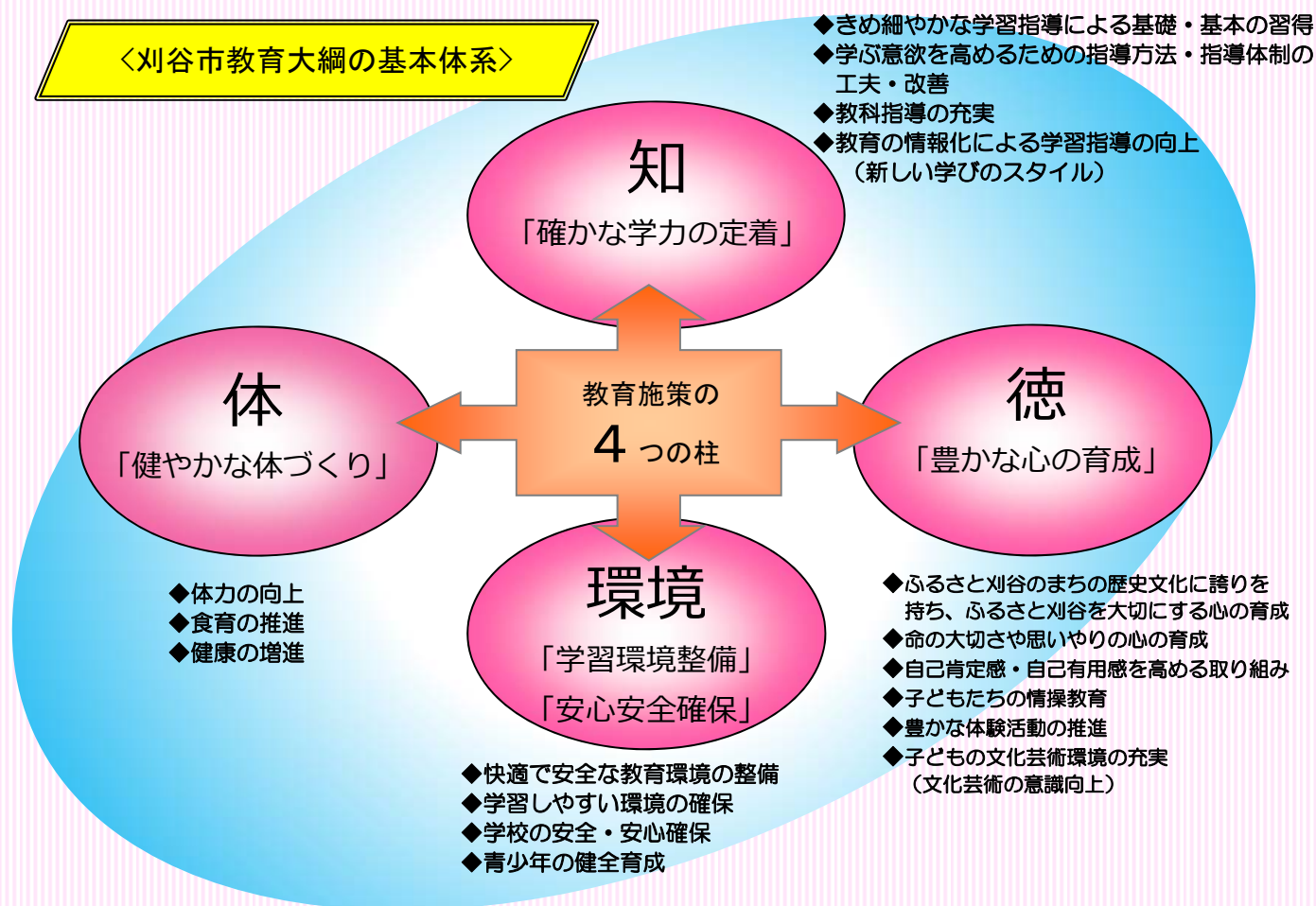
育てたい子ども像

自己肯定感と自己有用感に支えられ、確かな学力と体力を身に付けた、当たり前のことが当たり前に行える子ども

- 知 : 確かな学力の定着
- 体 : 健やかな体づくり
- 徳 : 豊かな心の育成
- 環境 : 学習環境整備・安全安心確保

に取り組めます！

＜刈谷市教育大綱の基本体系＞



¹ ● 基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、さまざまな問題に積極的に対応し、解決する力
 ● 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
 ● たくましく生きるための健康や体力 など

「教育大綱の4つの柱」と基本施策

資料 3

「知」＝「確かな学力の定着」	「体」＝「健やかな体づくり」	「徳」＝「豊かな心の育成」	「環境」＝「学習環境整備」 「安心安全確保」	
きめ細やかな学習指導による基礎・基本の習得	体力の向上	ふるさと刈谷のまちの歴史文化に誇りを持ち、 ふるさと刈谷を大切にする心の育成	快適で安全な教育環境の整備	
基礎的な知識・技能の習得	体力向上プロジェクトの推進	奈良県東吉野村との交流	老朽化した校舎の機能回復	
「話す・聞く能力」「書く能力」の向上	三つの間＝運動する時間・空間・仲間の導入	郷土資料館の見学	大規模改修	トイレの洋式化
家庭学習の励行（効果的、効率的な家庭学習のあり方を検討）	小学校における「外遊び検定」の実施	刈谷ゆかりの人物や出来事を学ぶ歴史学習	バリアフリー化の推進	
言語活動の充実と「聴く力」・「考える力」・「表現する力」の育成	小中学校における「体づくり運動」の導入	命の大切さや思いやりの心の育成	快適性・居心地のよさ	
考えたり感じたことをノートにまとめる活動	「だれでも いつでも どこでも いつまでも」 生涯スポーツ社会の実現	東北被災地派遣	小中学校の普通教室に 空調設備	緑化推進
学んだことを自分の言葉で振り返る活動	幼児期からの体力向上への支援	自己肯定感・自己有用感を高める取り組み	特別支援学校整備	
学ぶ意欲を高めるための指導方法・指導体制の工夫・改善	部活動での外部指導者の活用	校内での取り組み	小垣江東小学校の校舎の 一部を増改築	肢体不自由に特化した特別支援学校を 併設するための実施設計業務
「分かった」「できた」を実感させる授業	総合型地域スポーツクラブ活動の活性化	授業での子どもたちの発言を尊重、少人数での話し合い活動を実施	第一学校給食センター建設事業	
少人数授業	スポーツ少年団活動の支援	校外での取り組み	小垣江東小学校の敷地内に建設 するための実施設計業務	
ティーム・ティーチング	食育の推進	刈谷市生徒会サミット、職場体験活動（キャリア教育）、 保育実習、地域でのボランティア活動	学習しやすい環境の確保	
ともに学ぶ授業	食育推進プロジェクトの実施	子どもたちの情操教育	子どもの安定した学習環境を保つため、 保護者の経済的な負担を軽減	
子どもたち同士で学び合う授業の充実	栄養教諭の専門性を生かした授業づくり	朝の読書タイムの充実	就学支援の充実	私立高等学校授業料補助
教科指導の充実	食に関する指導・学校給食の充実	外部指導者の文化部への導入、生活創意工夫展、 刈谷っこギャラリー、小中学校音楽会	学校の安全・安心確保	
理数教育の充実	食育キャラクター「食まるファイブ」の活用	豊かな体験活動の推進	学校や地域による見守り体制の強化	
科学に関する基礎的な素質を開花（刈谷市少年少女発明クラブ）	年間計画に基づいた食育の授業づくり	刈谷市の歴史や文化財に親しみ学ぶことができる 施設等の建設計画	学校地域支援本部事業	スクールガードリーダー、 スクールガード
次世代における科学技術分野の人材育成	アレルギー対応給食の実施	完成後の歴史博物館や歴史的建造物（刈谷城本丸跡地の 隅櫓や石垣）の見学	子ども110番の家	防犯ブザー
外国語教育の充実	リクエスト献立、行事食、季節感のある旬の食材を取り入れた 献立の実施	ものづくりの刈谷、理科教育の刈谷における科学施設での体験	避難訓練・防犯訓練	学校施設、 通学路での防犯対策（ハード）
小学校外国語活動の導入に対応したALTの配置	地産地消の推進	夢と学びの科学館での科学実験や体験	不審者対策	
教育の情報化による学習指導の向上 （新しい学びのスタイル）	健康の増進	子どもの文化芸術環境の充実 （文化芸術の意識向上）	不審者メール	不審者の侵入対策
児童生徒の発達段階に応じた情報リテラシーの育成	望ましい生活習慣、規律のある生活習慣の確立	質の高い美術品に触れる機会の提供	地域と連携した防災教育	
電子黒板の導入	家庭における食生活のあり方や「早寝・早起き・朝ごはん」の励行	美術館の企画展	学校安全マニュアル	防災訓練
学習用タブレット型パソコンの検討		アイリス映像祭 かりやキネコ映画祭for kids	青少年の健全育成	
情報モラル教育の充実（情報モラルの高揚と育成）		絵本がいっぱいのまちづくり	青少年が自立し、社会参画ができる環境づくり	
スマートフォンの先進的な取り組み		美術館の企画展	親子のふれあい体験学習会	中高生の居場所づくり
		森三郎童話賞―創作童話全国募集―	青少年を家庭・地域・学校が連携して支援する環境づくり	
		読書活動の推進	放課後子ども教室の拡充	キッズクラブ事業
		ストーリーテリングの会		